

▼ドイル静注用 [注]<製造中止>

【重要度】★★ 【一般製剤名】アスポキシシリン aspoxicillin 【分類】合成ペニシリン製剤

【単位】▼1g・▼2g/V

【常用量】2～4g/日 [最大 8g]

【用法】静注もしくは30分～2時間かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】1日1回1g (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 $C_{cr}>50\text{mL/min}$: 減量の必要なし、 $CLCr10\sim50\text{mL/min}$: 1回1.0gを1日1～2回、 $CLCr<10\text{mL/min}$: 1日1回1g (5)

【特徴】合成ペニシリンでブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌、肺炎球菌、大腸菌、インフルエンザ菌等に抗菌力を有する。アミノグリコシドと相乗作用がある。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー様症状、急性腎不全、偽膜性大腸炎、血球減少、SJS、TEN、PIE 症候群、消化器症状、ビタミンK 欠乏症状など

【代謝】血清中には抗菌作用を示す代謝物は存在しない (Matsumoto K, et al: Jpn J Antibiot 38: 2699-2715,1985)

【排泄】尿中未変化体排泄率 59～88% [iv, 8hr まで] (1) 70～80% (Akasawa S, et al: Jpn J Antibiot 41: 37-47,1988)

【t1/2】1.8hr (Takase S, et al: Jpn J Antibiot 38: 1979-2002,1985) 1.5hr (1) $CCr 10\text{mL/min}$ 未満: 7hr (1)

【蛋白結合率】8.4% (1)

【Vd】小さいと思われる (5) データなし (1)

【MW】547.59

【透析性】透析される (1)

【O/W 係数】0.157 [n-ブタノール/水系, pH7.08] (1)

【更新日】20150824

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。